



# 活動のご紹介と入会のごお願い

一般社団法人 大阪府高校ラグビー交流会  
<https://oj-rugbynetwork.org/>



2025年版  
(v1.2)



# 私たちが目指していること

大阪府高校ラグビー交流会は、多くの高校生にラグビーの素晴らしさを伝え、大阪の高校ラグビーを活性化します。具体的には下記の施策に取り組みます。

- ① 大阪府高校ラグビーカミングデーの継続開催を通じて仲間を増やします。
- ② ラグビーを楽しめる地域クラブの支援、育成、設立に取り組みます。
- ③ ラグビーをするための場所の確保に取り組みます。
- ④ 大阪の未来を創る人材とクラブの育成に取り組みます。

**[地域クラブに開かれる機会について]** 日本ラグビーフットボール協会の「チーム登録等に関する規程」の改訂により、2024年4月1日以降、高校生及び高専生のカテゴリーに登録している選手が複数チームに登録できるようになりました。高校生がクラブから選手登録できるほか、高校の部活動では部員が少なく満足な練習ができない場合に、クラブを副チーム登録してクラブで練習や練習試合に参加することなどが想定されています。



# 目次

高校生年代のラグビーの現状 pp.4-8

現状の打開に向けて pp.9-17

大阪府高校ラグビー交流会 pp.18-22

入会のお願い pp.23-24

他地域の例 pp.25-29



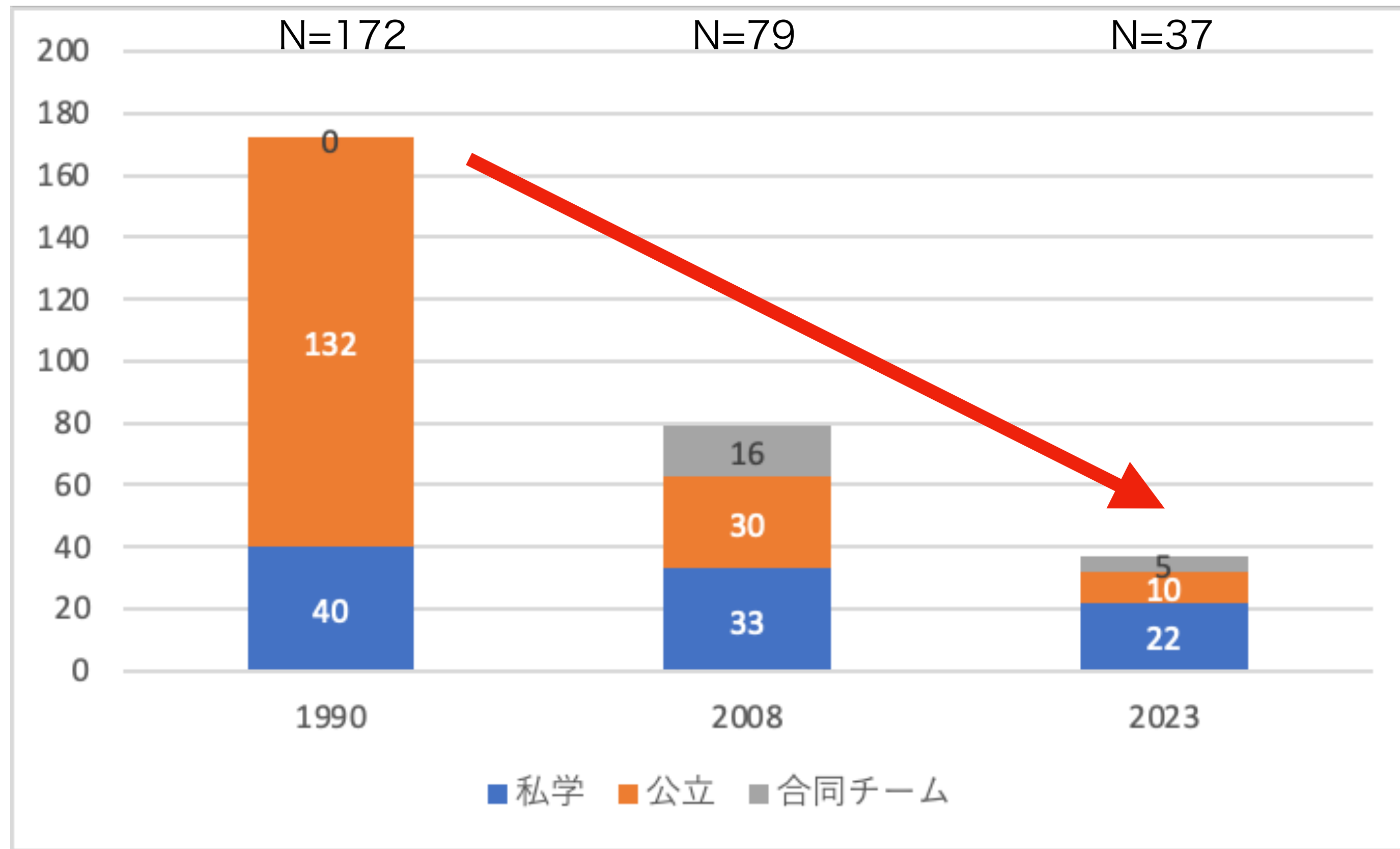


# 高校生年代のラグビーの現状



# 高校生年代のラグビーの現状

## 人数が集まるチームが減り、プレーできる場が消えている



全国大会予選（大阪）参加チーム数の変化

- ・ 1990年の172チームが2023年には37チームに減りました（△78%）
- ・ チームを編成できる公立高校のラグビー部の減少が顕著です
- ・ 複数校で編成する合同チームも減少が顕著です

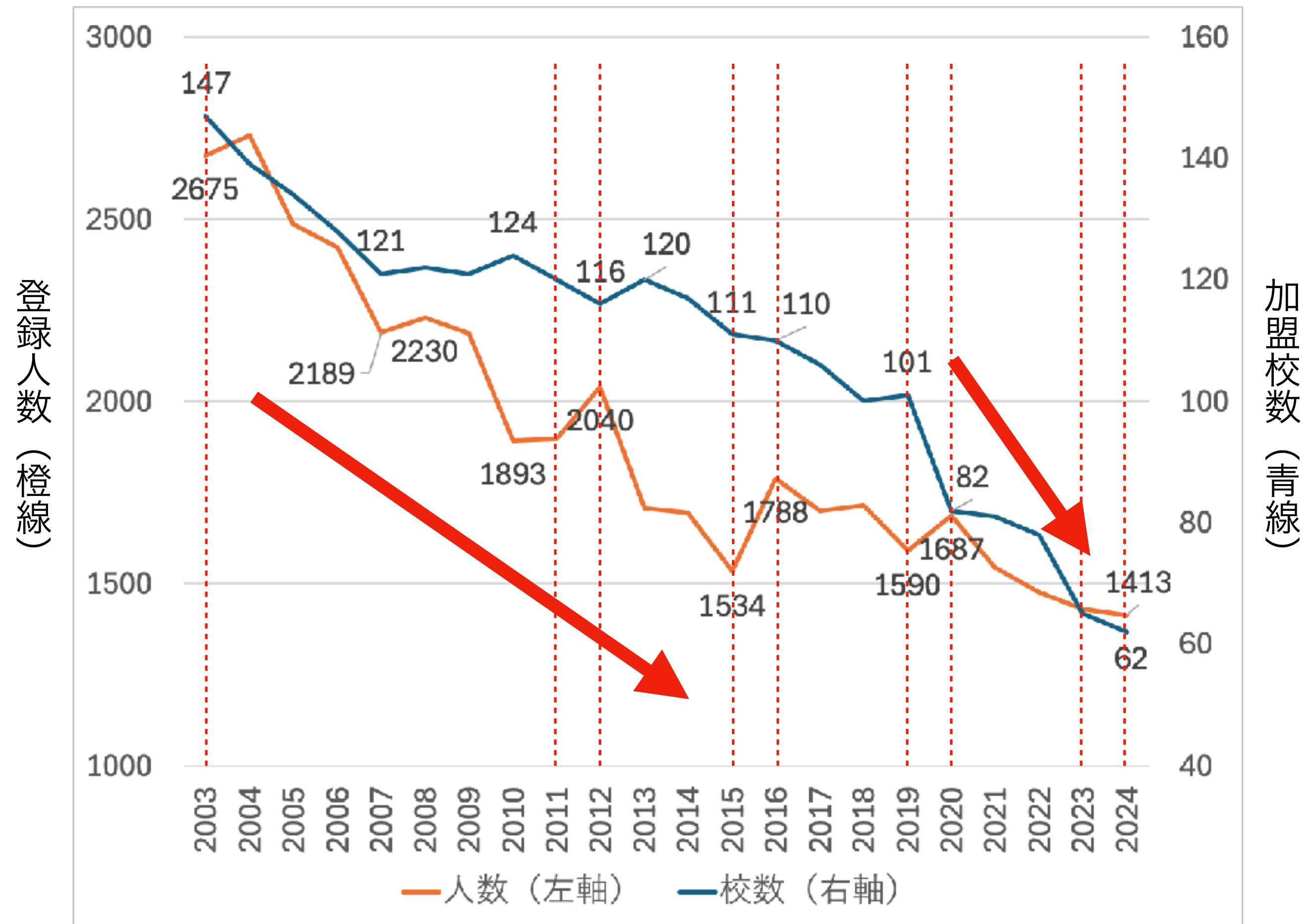
高体連資料をもとに作成

大阪府の高校数は、府立154、市立3、私立96の合計253校（2023年）



# 高校生年代のラグビーの現状

## 人数が長期的に減り続ける中、直近5年にプレーできる場が急減



大阪府内の選手数とチーム数の変化

- 2015年までの期間に、まず選手数が急激に減少しました
- コロナ禍に入った2020年に、チーム数の急減が始まりました
- コロナ禍の収束後も登録人数、加盟校数とも回復しませんでした
- 毎回のラグビーワールドカップの直後に登録人数が回復していましたが、2023年大会後は増えませんでした



# 高校生年代のラグビーの現状

## 合同チームに参加する高校の減少が目立つ

### 高校のラグビー部の数、部員総数、1校平均（大阪）

|       | 部の数  | 部員総数   | 1校平均      |
|-------|------|--------|-----------|
| 2003年 | 147校 | 2,675人 | 18.2人/校 ③ |
| 2015年 | 111校 | 1,534人 | 13.8人/校 ② |
| 2016年 | 117校 | 1,695人 | 14.5人/校   |
| 2020年 | 100校 | 1,715人 | 17.2人/校   |
| 2024年 | 78校  | 1,475人 | 18.9人/校 ① |
| ①/②   | 70%  | 96%    | 137%      |
| ①/③   | 53%  | 55%    | 104%      |

部員総数は減少し続けており、2003～2024年の減少率は△45%  
ただ、2015～2024年は△4%に抑えられています  
部の数の減少、1校平均部員数の増加から、一部の高校への集中が読み取れます

### 全国大会予選参加チーム数/校数（大阪）

|       | 単独参加           | 合同参加                  |
|-------|----------------|-----------------------|
| 2015年 | 41チーム/校 (100%) | 13チーム/53校 (100%/100%) |
| 2016年 | 42チーム/校 (102%) | 8チーム/49校 (62%/92%)    |
| 2020年 | 35チーム/校 (85%)  | 8チーム/46校 (62%/87%)    |
| 2024年 | 31チーム/校 (76%)  | 5チーム/29校 (88%/55%)    |

合同チームに参加する高校ラグビー部の数が2022-23年に急減し、高校生とラグビーの接点の減少に拍車がかかっています



# 高校生年代のラグビーの現状

## イベント開催で見たこと①

2023年5月3日

大阪府高校ラグビーカミングデー

(p.12 「1年目の取り組み」 参照)

相手をつけた練習を十分にできない  
公私立28校から245人の選手が参加

選手1人で参加 6校

選手2人で参加 4校

15人超で参加 8校

| 番号 | 高校<br>名称      | ロッカー<br>番号 | グループ<br>分け | 車でのご<br>来場予定<br>(1を記入) | 選手             |                | 選手の総<br>数 | マネ<br>ジャー等<br>スタッフ | 顧問 | 参加者の<br>総数 |
|----|---------------|------------|------------|------------------------|----------------|----------------|-----------|--------------------|----|------------|
|    |               |            |            |                        | (1)初心者<br>グループ | (2)経験者<br>グループ |           |                    |    |            |
| 1  | 生野            | 11         | 1          | 1                      | 4              | 3              | 7         | 2                  | 1  | 10         |
| 3  | 茨木            | 12         | 1          | 1                      | 8              | 15             | 23        | 5                  | 2  | 30         |
| 10 | 北野            | 13         | 1          | 1                      | 7              | 8              | 15        | 3                  | 1  | 19         |
| 11 | 高津            | 14         | 1          | 1                      | 5              | 8              | 13        | 4                  | 2  | 19         |
| 13 | 四條畷           | 15         | 1          |                        |                | 14             | 14        |                    |    | 14         |
| 19 | 天王寺           | 16         | 1          | 1                      | 10             | 15             | 25        | 4                  | 4  | 33         |
| 20 | 富田林+住吉+東大阪大柏原 | 11         | 1          |                        | 3              | 5              | 8         |                    | 2  | 10         |
| 16 | 住吉 (番号20に含む)  |            |            |                        |                |                | 0         |                    |    | 0          |
| 25 | 北摂つばさ         | 2          | 2          | 1                      | 1              | 1              | 2         |                    | 2  | 4          |
| 4  | 茨木西           | 2          | 2          |                        |                | 1              | 1         |                    | 1  | 2          |
| 8  | 大手前           | 3          | 2          |                        |                | 1              | 1         |                    |    | 1          |
| 18 | 高槻北           | 2          | 2          |                        |                | 1              | 1         |                    | 1  | 2          |
| 21 | 長尾            | 2          | 2          |                        | 0              | 1              | 1         | 0                  | 1  | 2          |
| 28 | 山田            | 2          | 2          | 1                      |                | 1              | 1         |                    | 1  | 2          |
| 追加 | 北かわち阜が丘       | 2          | 2          |                        |                | 1              | 1         |                    | 1  | 2          |
| 追加 | 開明            | 2          | 2          |                        |                | 2              | 2         |                    | 1  | 3          |
| 7  | 大阪学院大学        | 2          | 2          | 1                      | 1              | 1              | 2         |                    | 2  | 4          |
| 17 | 太成学院大学        | 2          | 2          | 1                      | 1              | 1              | 2         |                    | 1  | 3          |
| 12 | 金光大阪          | 2          | 2          | 1                      | 1              | 2              | 3         |                    | 4  | 7          |
| 2  | いちりつ          | 3          | 2          |                        | 3              | 6              | 9         | 1                  | 1  | 11         |
| 22 | 寝屋川           | 3          | 2          |                        |                | 10             | 10        | 2                  | 2  | 14         |
| 24 | 東住吉           | 4          | 2          |                        | 3              | 10             | 13        | 6                  | 3  | 22         |
| 26 | 都島工業          | 6          | 2          | 1                      | 3              | 15             | 18        | 3                  | 3  | 24         |
| 9  | 関西創価          | 5          | 3          | 1                      | 0              | 9              | 9         | 5                  | 2  | 16         |
| 6  | 大阪            | 7          | 3          |                        | 5              | 15             | 20        |                    |    | 20         |
| 15 | 常翔啓光学園        | 8          | 3          | 1                      | 5              | 17             | 22        | 2                  | 3  | 27         |
| 29 | 淀川工科          | 9          | 3          | 1                      | 5              | 17             | 22        | 1                  | 3  | 26         |
| 5  | 上宮太子不参加       |            |            |                        |                |                | 0         |                    |    | 0          |
| 27 | 八尾不参加         |            |            |                        |                |                | 0         |                    |    | 0          |
| 23 | 汎愛不参加         |            |            |                        |                |                | 0         |                    |    | 0          |
| 14 | 渋谷不参加         |            |            |                        |                |                | 0         |                    |    | 0          |
|    | (合計)          |            |            | 14                     | 65             | 180            | 245       | 38                 | 44 | 327        |





# 高校生年代のラグビーの現状

## イベント開催で見たこと②

### 高校生の様子から

- ・十分な人数でプレーできる喜び
- ・ラグビーを通じて仲間ができる喜び
- ・トップコーチや選手から学べる喜び

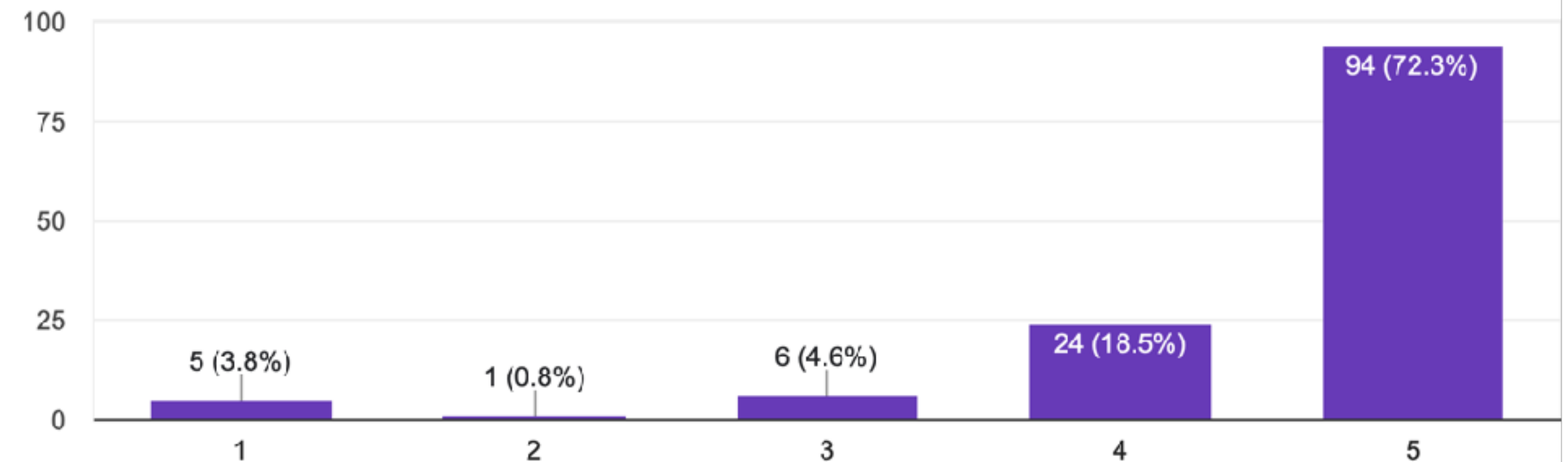
### 大人の様子から

- ・輝く高校生を見る喜び
- ・何とかしたい(けど)という気持ち

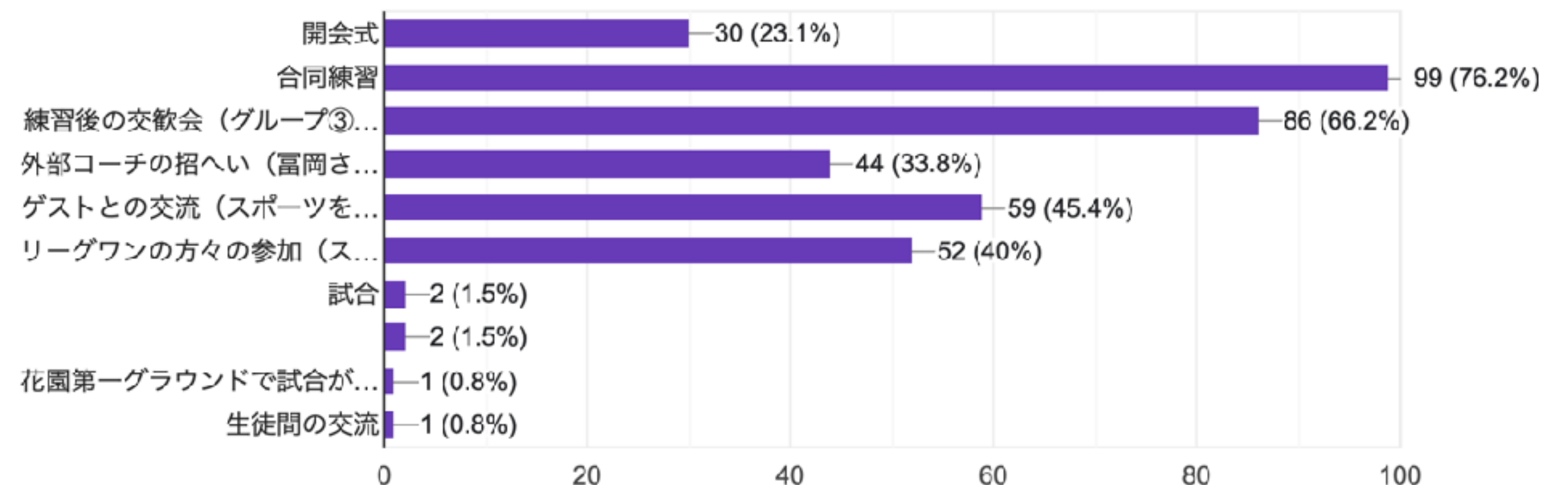
### 開催準備を通じて

- ・高校のラグビー部は減る流れにある
- ・高校生がラグビーを楽しめる**新しい場が必要**
- ・両者が共存してラグビーを次世代につなぐ環境に移行しないとイケない

今日一日、どれくらい楽しかったですか？  
130件の回答



何が良かったですか？（複数回答可）  
130件の回答





現状の打開に向けて

# 現状の打開に向けて 団体の設立

2022年2月  
六稜ラグークラブ（北野高校ラグビー部OB会）が他5校（天王寺、茨木、四條畷、生野、高津）のラグビー部OB会に呼びかけを開始

2022年7月  
設立趣意書に合意

2023年1月  
規約を制定、団体を設立（法人格なし）

2024年4月  
一般社団法人に移行

## 大阪府高校ラグビー交流会 創設趣意書

### “高校ラグビーのここが嫌い！”

「練習に行っても人しかおらん」  
「土のグラウンドでタックル行ったらめっちゃ痛い」  
「レベチの相手と試合してもぜんぜんオモロくない」  
「うちは15人しかおらんから、フルタイムやったらめっちゃしんどい」  
「もっと試合やりたけど、負けたらもう終わりなん？」

高校ラグビーについて、こんな声を良く聞きます。一方で、  
“ラグビーに出会い、ラグビーを通じて、人間的に大きく成長できた。”  
こう語るラグビー経験者の声も良く聞きます。

### 【ラグビーの仲間を増やすために】

そんなラグビーをやるためには、主体的にラグビーに取り組み、少しでも上手くなり、今は手が届かない強豪校といつかは互角に戦えるようになる。現役の生徒がそう思える環境を整備したい。さらに、一人でも多くの後輩が、ラグビーを通じて大きく成長して社会に羽ばたいてほしい。そう思っています。それを後押しする環境づくりの第一歩として「大阪府高校ラグビー交流会」の創設を発起します。今年に天王寺高校がラグビー部の創部100周年を迎え、大阪府における高校ラグビーの歴史が2世紀目に入りました。ラグビー部を有する高校が顕著に減っている今、試合機会を増やし、練習環境を高められる仕組みが必要です。交流会はそのための仕掛けに取り組みます。ラグビーらしく、アフターマッチファンクションも大切にします。

そして、仕掛けの第一弾として、府内の高校のラグビー部に広く参加を呼びかけるイベントを創設。その第一回を、北野高校ラグビー部が100周年を迎える2023年5月に花園ラグビー場を一日借り切って実施します。天王寺、北野、茨木、四條畷、高津、生野を含む高校が参加して、各校の練習や試合を観戦予定です。部長など各校の状況を考慮して内容を工夫するほか、入学して間もない新入生も楽しめるプログラムを企画します。毎年このイベントを何らかの形で開催して、可を重ねながら、顧問、OB会、そして学校の協力の形を整え、府内の高校のラグビー部全体の活性化に向けた体制づくりも同時に行いたいと考えます。

### 【高校のラグビー部が置かれている状況】

全国高等学校ラグビーフットボール大会大阪府予選の参加チーム数は1990年代から下降傾向が続いています。44チームまで減少した2021年度は、単独でチームを編成した高校は府立12校、市立1校、私立24校でした。府立33、市立1、私立8の合計42校が7つの合同チームに分かれて大会に参加しました。

青島田 クガ アキヲ作



2020年時点で大阪府には256の高校があり、公立高校（府立135校と市立24校）が学校数も生徒数も総数の約6割を占めています。しかし、単独チームで大会に参加した高校のうち公立校の数は35%にとどまります。さらに、他校と合同チームを組んで大会に参加した42校の8割が公立校です。1992年に205万人を数えた日本の19歳人口は今年2022年に112万人、2040年には68万人と予測されています。大阪の高校に通う高校生がラグビーを興しめる環境を維持するには工夫と変化が必要です。

### 【運動部の活動自体の現状】

少子化や教員の負担軽減の必要性を背景に、スポーツ庁は公立学校の部活動を地域のスポーツクラブなどへ移行する議論を進めています。中学校に加えて高校においても部活動改革を進める方針が示されており、休日の部活動の指導を望まない教員が部活動に従事しない環境の構築が急務です。今年3月8日、日本中学校体育連盟は地域スポーツ団体等の中学生の全国中学校体育大会への参加を承認する方針を発表しました。これもスポーツ庁が進める運動部活動の地域移行と関係しています。今後はこの社会状況の変化を踏まえて運動部活動を考えていく必要があります。

### 【大阪の高校ラグビーを盛り上げる】

出来れば毎年5月のゴールデンウィーク中に高校ラグビーの聖地である花園ラグビー場で、各校の新入生のラグビー部への勧誘の機会とも捉えながら、合同の練習、試合、アフターマッチファンクション等のイベントを開催したいと考えています。そして幅広く府内の高校のラグビー部にお声掛けをしてこのイベントに参加してもらいたい。大阪府高校ラグビー交流会に一部の高校だけの集まりにするつもりはありません。交流関係がある6校のラグビー部が発起し、走りながら輪を広げ、大阪全体で高校のラグビー部を盛り上げることを目指します。

“ムーブメントを起こし大阪の高校のラグビー部を活性化しましょう。  
そして多くの高校生にラグビーの素晴らしさを知ってもらい仲間を増やそう。”

2022年7月28日

### ～発起人～

|               |         |       |              |       |
|---------------|---------|-------|--------------|-------|
| 大阪府立北野高等学校    | ラグビー部顧問 | 鈴木 崇和 | OB会会長（六波羅ラグ） | 下平 憲哉 |
| 大阪府立天王寺高等学校   | ラグビー部顧問 | 北條 淳  | OB会会長（橘屋ラグ）  | 青木 一彦 |
| 大阪府立茨木高等学校    | ラグビー部顧問 | 西村 幸大 | OB会会長        | 村田 彰彦 |
| 大阪府立四條畷高等学校   | ラグビー部顧問 | 中尾 康一 | OB会会長        | 仁藤 正之 |
| 大阪府立高津高等学校    | ラグビー部顧問 | 井濱 友利 | OB会会長        | 林 佑佑  |
| 大阪府立生野高等学校    | ラグビー部顧問 | 荒木 孝崇 | OB会会長（近鉄ラグ）  | 大石 賢一 |
| NPO法人ノーサイドゲーム | 代表理事    | 田中 佳明 |              |       |

青島田 クガ アキヲ作



# 1年目の取り組み

## 春→夏→秋→翌年につながる基本サイクルを形成

### カミングデー (5月)

公私立28校から選手250人、スタッフ100人、トップコーチ・選手15人が集まり、合同練習と交流会を行いました。

主催：当交流会 後援：東大阪市

協力：大阪府ラグビー協会

(一社)スポーツを止めるな

花園近鉄ライナーズ

コベルコ神戸スティーラーズ

(株)PRIDES らぐびーくえすと

寄付：クラウドファンディング(一般公開)

八尾高校ラグビー部OB

スモカ歯磨(株) 京都大学ラグビー部



### 夏季練習会 (7月)

少人数チームが集まって、トップコーチや選手から指導を受けられる練習会を行いました。千葉から大阪に遠征中の高校にも参加していただきました。

開催日数 半日×4日

参加選手 のべ約240名

参加チーム 7チーム (府外1チーム含む)

個人参加 応募なし

主催：当交流会

協力：花園近鉄ライナーズ



### 卒業記念試合 (11月)

公私立2校と個人参加で選手40人（うち14人が卒業を控えた3年生）が集まり、混成チームで試合を行いました。

授業日や行事日と重なったチームや個人が多数に上り、事前計画に工夫の余地が大きいことがわかりました。

午後にライナーズのプレシーズンマッチの観戦会も行いました。

主催：当交流会

協力：花園近鉄ライナーズ



# 大阪府高校ラグビーカミングデー

2023年5月3日(水祝) 第1回開催



開会式



練習試合



スキル練習



他校交流



スピーチ



高校生の家族と

# 高校生と花園近鉄ライナーズの夏季練習会



2023年7月24,25,26,27日(月～木) 第1回開催



ライナーズがグラウンドを提供



普段はできないスクラム練習



少人数でできる練習を学ぶ

# 卒業記念試合

2023年11月11日(土) 第1回開催



大学でも花園に戻ってきて！



集合写真



今日だけのチームミーティング



初めてのチームメートとの連携



最後の試合の相手を讃える



# メディアでの紹介

## 第1回大阪府高校ラグビーカミングデーへのご反応



① 「部活離れ」を乗り越えるために  
(廣瀬俊朗)

2023/5/17

日本経済新聞 会員限定記事



② 「史上最高の合同体験入部」から  
1カ月…ラグビーとの素敵な出会いを

2023/5/31

サンケイスポーツ



③ 20年で「部員半減」の衝撃 高  
校ラグビー王国・大阪の再興戦略

2023/6/1

産経新聞



④ 高校ラグビー部員不足克服へ  
「花園」合同体験会で逆転トライ

2023/6/5

毎日新聞 有料記事



⑤ 部員減に「リアル学べる場、尊い」  
北野高出身元代表主将の思い

2023/6/5

毎日新聞 有料記事



記事はウェブサイトでご覧いただけます。  
アイコン又はQRコードが記事にリンクしています。





# クラウドファンディング

## 「初心者大歓迎の合同体験会 in 花園ラグビー場」

2023年3月、当交流会の発起を推進した大阪府立北野高校ラグビー部OB会の名前で実施

一般社団法人への体制変更を経て、2025年2-3月に、大阪府高校ラグビー交流会が実施



急速に縮小する若者のラグビー人口をV字回復させるため、中長期的な計画で取り組みます。

- ①大阪府高校ラグビーカミングデーの継続
- ②新しい若者を惹きつける仕掛けの実施
- ③地域クラブ形成に向けた取り組み

<https://readyfor.jp/projects/kitanorugby100th>



# 大阪府高校ラグビー交流会



# 大阪府高校ラグビー交流会とは 創設時の目的とこれからのビジョン

大阪府高校ラグビー交流会 創設趣意書

“ムーブメントを起こし大阪の高校ラグビーを活性化しよう。そして多くの高校生にラグビーの素晴らしさを知ってもらい

仲間を増やそう。”

2023年7月  
大阪府高校ラグビー交流会  
創設趣意書制定

【高校のラグビーが置かれている状況】  
全国高等学校ラグビーフットボール大会大阪府予選の参加チーム数は1990年代から下落傾向が続いていて、44チームまで減少した2021年度は、単独でチームを編成した高校は府立12校、市立1校、私立24校でした。府立33、市立1、私立8の合計42校が7つの合同チームに分かれて大会に参加しました。

100年先にもラグビーが必要とされるための  
基盤を創ります

そのために、現在の仕組みでは対応できない  
課題の解決に取り組みます

まず、もっと多くの高校生がラグビーを楽しめる  
環境づくりに注力します

その先には、ラグビーを生かして生活や人生を豊かにする場づくりを目指しています

これからのに向けたビジョン



# 組織

## 2024年度以降は会員制度を持つ一般社団法人に

|       | 2023年  | 2024年から                   |
|-------|--|---------------------------|
| 法人の種類 | 法人でない<br>(任意団体)                                    | 一般社団法人 (*)<br>(非営利型)      |
| 構成員   | 発起人 13名<br>(発起6校のラグビー部のOB会長及び顧問、<br>他1名)<br>事務局 数名 | 代表理事 2名<br>理事 1名<br>監事 1名 |
| 意思決定  | 代表が発起人を招集して<br>開催する会議での合議                          | 社員総会<br>理事会               |

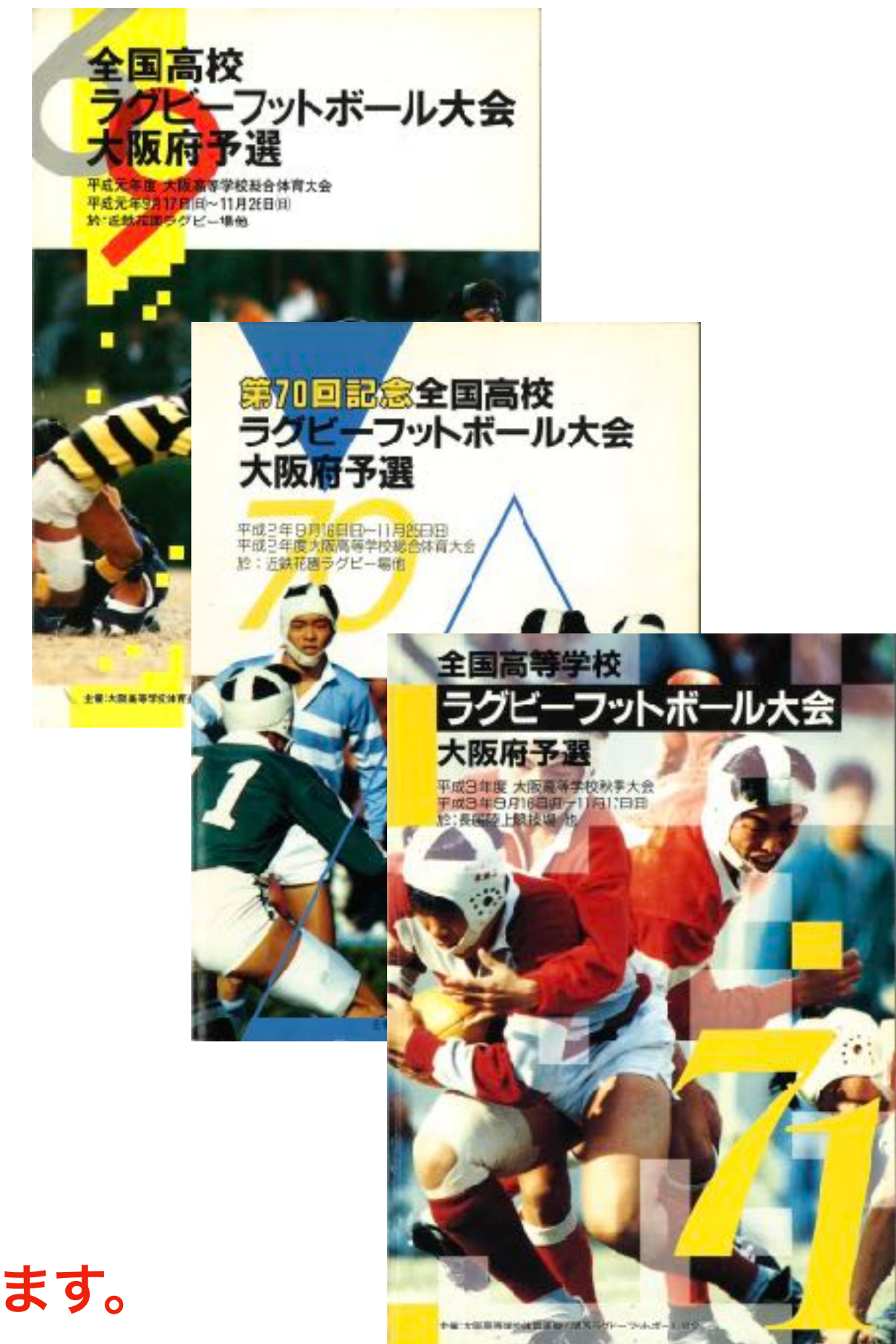
(\*) 2024年3月に設立されました



# 主な活動

## ラグビーを次世代につなぐ移行期をリードします

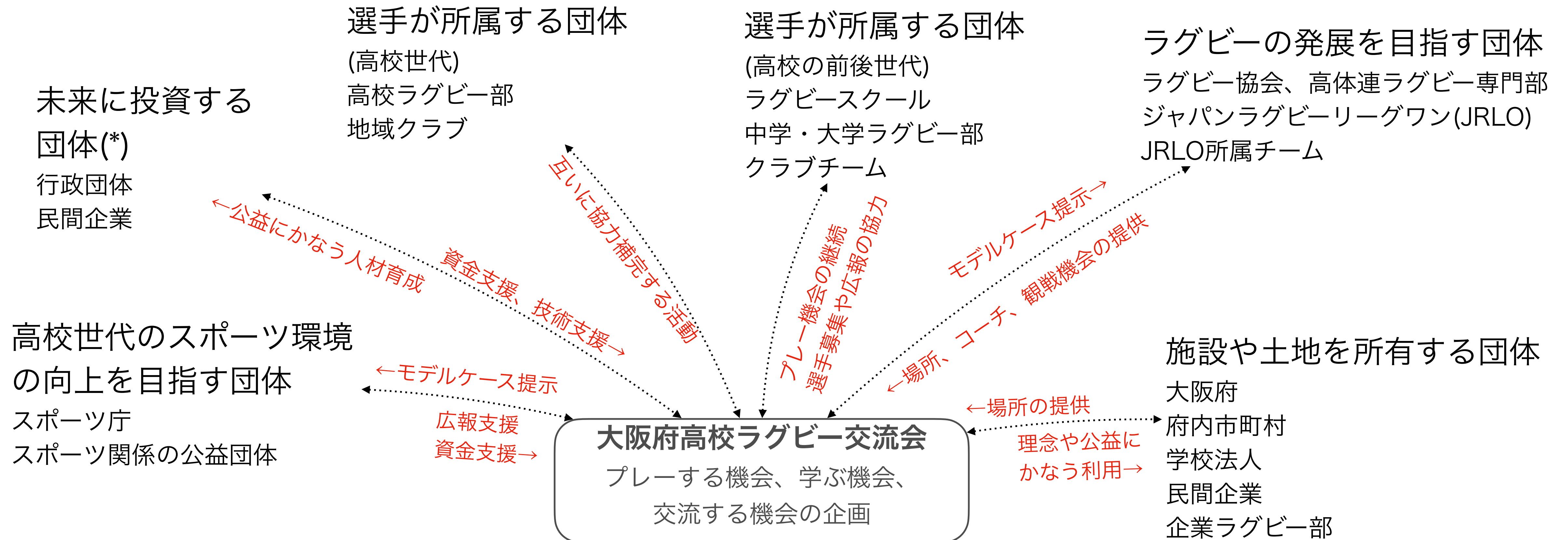
- [優先]** 大阪府高校ラグビーカミングデーの継続（予算：100万円/年）  
カミングデーの参加選手数を初回の245人の3倍に増やします。  
秋の卒業記念試合を、カミングデー参加者が目標にできる大会に発展させる案を検討します。
- [優先]** 大阪府全域で地域クラブの支援、設立、育成（予算：50万円/年）  
地域クラブを充実させ、高校ラグビー部の減少による基盤の弱体化を補います。  
大阪市北部や大阪府北部の地域でパイロット事業を始めることを検討しています。  
組織化されている高校ラグビー部OB会やラグビースクール等の協力を得ます。
- ラグビーを支える場所の確保（予算：未定、2025年以降）  
合同チームに参加している高校のグラウンドを利用させていただいたり、  
閉校する高校の敷地と施設を活用したりする可能性を探索します。
- 大阪の未来を創る人材とクラブの育成（予算：未定、2027年以降）  
大阪府内の各地域に拠点を設け、ラグビーを楽しめる場所やエリアを広げていきます。  
選手に加えてコーチやレフェリー、クラブを運営する人材が育つ場をつくります。  
**他の都道府県と共に日本中のラグビーを再興し、他のスポーツにも影響を与えるモデルケースになります。**





# パートナーシップを大切に

皆様と志でつながって一緒に未来を創れる存在になっていきます





入会のお願い



# ご支援いただける方法

現在は創設初期をお支えいただける賛助会員を募集しています

| 種類   | 説明       |   | 募集期間       | 会員数           | 会費                                | 備考                         |
|------|----------|---|------------|---------------|-----------------------------------|----------------------------|
| 正会員  | 団体<br>個人 | 当法人の目的に賛同 会員募集に協力<br>発起6校OB会、その他高校OB会、ラグビー<br>スクール等に入会を案内 | 募集中        | 現時点では<br>制限なし | なし<br>正会員向けサービス開始後に<br>有償化する可能性あり | 正会員は社員<br>一部は理事又は<br>監事を兼任 |
| 賛助会員 | 団体       | 当法人の事業を賛助   | 募集中        | 制限なし          | 50,000円/口/年                       | 団体会費は消費<br>税込              |
|      | 個人       |   |            |               | 5,000円/口/年                        |                            |
| 協力会員 | 団体<br>個人 | 当法人の目的に賛同 ラグビー又は他競技の<br>チームを持つ団体に入会を案内                    | 募集中        | -             | -                                 | PR支援、物品/<br>場所提供等          |
| 寄付   | 団体<br>個人 | 当法人の目的に賛同<br>金銭や物品等の資産を無償で提供                              | 募集中        | -             | -                                 | お申し出に対応                    |
| 基金   | 団体<br>個人 | 財産的基礎と運営基盤の強化のため、金銭、<br>不動産、動産等の現物財産等を提供                  | 開始時期<br>未定 | -             | -                                 | 将来の活動拠点<br>の取得等            |

賛助会員（団体）：ご希望により、当法人が主催するイベントでの配布物及び当法人のホームページ上の「賛助会員一覧」に掲載

会員は任意にいつでも退会可能（年度途中の入退会における年会費の割引や返金はなし）

その他（上表外）：毎年5月の大阪府高校ラグビーカミングデーにおいて寄付や協賛を通じた特別協力を都度募集（金額やベネフィットはお問合せください）





# 他地域の例

# 他地域の例① 北海道バーバリアンズラグビーアンドスポーツクラブ

## ラグビーを基軸に地域スポーツの振興発展を牽引する老舗クラブ

- 1975 6人でチーム結成
- 1987 NZ訪問を機に北海道バーバリアンズに改称
- 1988 生涯スポーツ見据えて年代実をカ別チームを編成
- 1992 東日本クラブ選手権大会優勝
- 1995 創設20周年NZ遠征、グラウンドとクラブハウスの取得を誓う
- 1999 **NPO認証(国内スポーツ団体第1号)、財産を持つための法人格取得**
- 2002 全国クラブ選手権大会準優勝、ジュニアとシニアチーム発足
- 2007 **定山溪グラウンドとクラブハウスを取得**
- 2008 総合型スポーツクラブ認定
- 2010 JRFU「セブンズアカデミー」パートナークラブ認定  
他チームの夏合宿への施設提供を開始  
ラグビー精神と心身バランスを持つトッププレイヤー養成を開始
- 2011 女子チーム「ディアナ」愛称決定
- 2012 ピリカモシリ7'sトーナメント創設、後に国際化
- 2015 札幌NZラグビー留学生交換制度開始
- 2016 **認定NPO法人に**
- 2017 JOCのラグビー強化拠点、JSPOのJ-STARプロジェクト拠点に

公式ホームページの記載 (歴史 HISTORY) を参考に作成



(前略) 時代は少子化による学校チームの先細り、先行き不透明な企業チームの動向を見据え、来るべき21世紀は子供から大人までが地域のよりどころとして集う地域クラブ組織の発展が新たな時代を切り開く次代の主役となることは確実だ。その一方、地域クラブの発展を目指す我々にとっても社会的に認知された団体として公共施設のグラウンド管理などを担える主体として組織運営の確立、強化は急務の課題となっている。(後略)

設立趣意書 (1990年1月30日)より

# 他地域の例② 渋谷インターナショナルラグビークラブ

## 「ラグビーを通じて世界中に友達を作ろう」



“渋谷インターナショナルラグビークラブ（SIRC）は「ラグビーを通じて世界中に友達を作ろう」をモットーに、日本在住の様々な国籍の子ども達と一緒に、ラグビーやタグラグビーを楽しめる教室を開催しています。2024年9月現在、4歳から18歳までの男女340名の会員がいます。練習は基本的に英語ですが、慣れるまでの間は、ボランティアが日本語でサポートします。”



写真、説明文はいずれも同クラブ  
公式ホームページから借用

# 他地域の例③ 神奈川ラグビーU18アカデミー 人数不足のチームに合同練習の機会を提供する

- 湘南アルティルズに次いで、高校カテゴリーでは県内2つ目のクラブ
- 2023年12月時点では競技普及や練習会が主な活動、2年目以降は公式戦参加を見据えて法人でのクラブ運営を検討
- 県ラグビー協会が運営を担い、毎週土曜日に初心者や人数不足のラグビー部員向けに合同練習の機会を提供
- 県協会に所属する青山学院大学ラグビー部の協力を得て、同大学のグラウンドを地域開放の時間帯に使用
- 県高体連ラグビー専門部のOBや相模原ダイナボアーズ (ジャパンラグビーリーグワン)のOBらを指導者に招聘
- 県高体連に登録する高校ラグビー部は42チーム
- 2023年1-2月の県新人戦に単独チームで出場した高校ラグビー部は10チーム前後
- 9-11月の全国大会予選に単独チームで出場した公立高校ラグビー部は7チーム



神奈川新聞 2023年12月29日より

# 他地域の例④ オープンハウスグループ×桐生南スポーツアカデミー 民間企業が取得した高校跡地を地域の交流促進の場に育てる

- ◎ (株)オープンハウスグループ（本社東京）が進める、閉校した群馬県立桐生南高校の跡地活用プロジェクト（2023年3月に校舎などを取得）
- ◎ 同社は「人口減少・少子高齢化」「地方の衰退」などの社会課題解決をテーマに、群馬県で地域共創のための取組を展開しており、本プロジェクトはそのひとつ
- ◎ 2月に発足する中学生対象の新しい硬式野球チーム「桐生南ポニーリーグ」が、最初の利用者として跡地を拠点に4月から活動
- ◎ 同チームは、野球をはじめとするスポーツを通じた子供および青少年の育成のための各種事業を行う(一社)桐生南スポーツアカデミーが運営
- ◎ チームの活動頻度は毎週土日と火木の4回＋自由練習（グラウンドは毎日使用可）
- ◎ 現場に元トップ選手、審判、高校の野球部長の、オンラインでトレーナーや管理栄養士のスタッフがサポートする体制
- ◎ 会費制（入会金、部費、積立金）、父母にサポートの強制なし

群馬・桐生南高の跡地、まずは中学生硬式野球の新チームの拠点に、オープンハウスグループが利用案の募集を開始

閉校した高校跡地に再び活気

株式会社オープンハウスグループ 2023年2月10日 14時08分

株式会社オープンハウスグループ（本社 東京都千代田区、代表取締役社長 荒井正昭、以下「当社」）が進める、閉校した桐生南高校（群馬県桐生市）の跡地活用プロジェクト（以下、「本プロジェクト」）において、当社と群馬県をはじめとする関係各所との協議が完了し、当社グループによる2023年3月1日の校舎などの取得後から、本プロジェクトが跡地を利用できることが正式に決定致しました。2月10日付で発足する中学生対象の新しい硬式野球チーム「桐生南ポニーリーグ」が、最初の利用者として、跡地を拠点に4月から活動する予定です。



